

# 感染症

## 県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第13週)

(令和7年3月24日～令和7年3月30日)

令和7年4月3日

区分	疾病名	2025年					2024年	2023年
		10週	11週	12週	13週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	1.22	1.89	2.11	1.89	-	-	-
		11	17	19	17	891	2,570	3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3.22	2.67	4.00	4.56	-	-	-
		29	24	36	41	705	2,596	1,698
	RSウイルス感染症	0.60	0.40	0.40	0.40	-	-	-
		3	2	2	2	16	104	110
	咽頭結膜熱	-	1.00	-	-	-	-	-
		0	5	0	0	12	104	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	2.40	1.40	0.80	-	-	-
		10	12	7	4	96	240	176
	感染性胃腸炎	6.00	6.60	4.40	5.20	-	-	-
		30	33	22	26	256	696	1,023
	水痘	0.20	-	0.60	0.40	-	-	-
		1	0	3	2	14	29	28
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	2	973	132
伝染性紅斑	4.00	5.20	4.60	4.80	-	-	-	
	20	26	23	24	267	43	3	
突発性発しん	0.40	0.20	0.20	0.60	-	-	-	
	2	1	1	3	17	81	100	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	28	188	
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	4	2	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	1	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	5	6	9	
全数報告	結核	0	0	0	0	3	8	2
	百日咳	0	1	0	0	2	5	4

出典：福島県感染症発生動向調査週報(I DWR)より県中地域分を抜粋しています。

### 県中地域の流行状況

<b>流行中</b>	伝染性紅斑《警報》、インフルエンザ
<b>流行注意</b>	新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎

#### 【伝染性紅斑について】

増加傾向が続いています。ヒトパルボウイルスB19に感染することで起こる病気で、小児を中心に流行します。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、両ほほに紅い発疹、体や手足に網目状の発疹が現れ、1週間程度で消失します。発疹が出現する7-10日前に風邪症状がみられることが多く、この時期にウイルスが多く排出されます。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。妊娠中に感染した場合、胎児水腫や流産を生じる場合があります。

4月は新学期や引っ越しシーズンを迎え、人の移動や会食の機会が増える時期ですので、基本的な感染対策をお願いします。

### 基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒



場面に応じたマスクの着用  
や咳エチケット



定期的な換気



体調不良時は  
無理せず休む